スタートアップガイド
TX-NR818

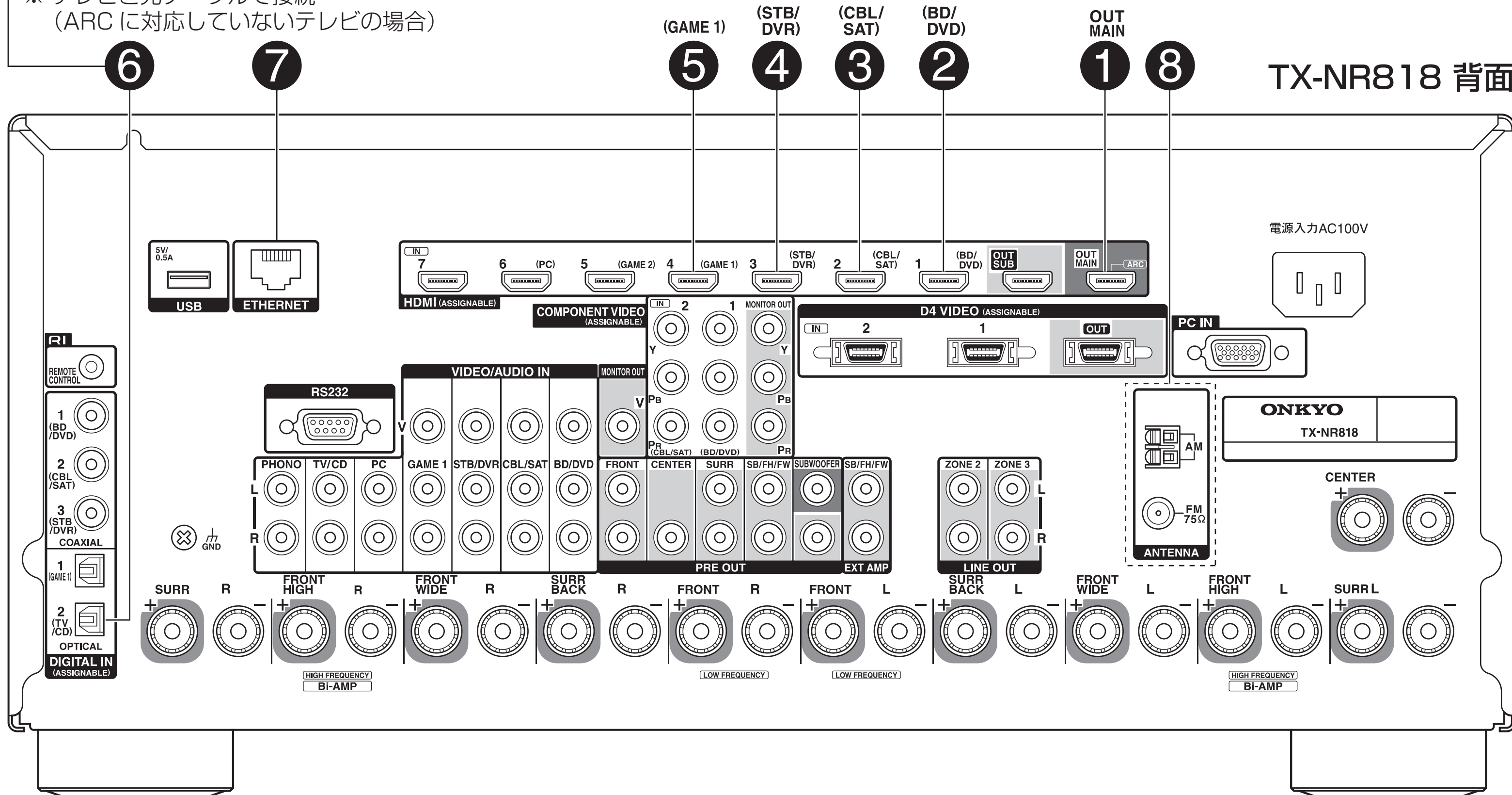
この１冊で基本的な接続・設定や操作方法がお分かりいただけます。

接続や設定を行う前に、付属品について取扱説明書７ページを参照のうえ、ご確認ください。

- 本機のセットアップ（設定）メニューをテレビの画面に表示するには、テレビとの HDMI 接続が必要です。
- ブルーレイディスクプレーヤー等の AV 機器は本機の HDMI 入力に接続すれば、音声を楽しんだりテレビに映像を映し出すことができます。
  また、本機の電源をスタンバイ状態にしていても映像をテレビに映し出すことのできる HDMI スルー機能も搭載しています。
- AV 機器と HDMI 接続した場合は、テレビへの映像信号伝送は HDMI 接続しか出力されません。

1. テレビや AV 機器と接続する

※ テレビと光ケーブルで接続
（ARC に対応していないテレビの場合）



HDMI ケーブルを使用した接続方法

イラストと説明の番号を併せてご覧ください。

❶ テレビの HDMI 入力端子と接続します。テレビの ARC 機能（※ 1）を使用する場合は、テレビの ARC 対応 HDMI 端子との接続が必要です（※ テレビが ARC 機能に対応していない場合 ❻ の接続が必要です）。

❷ ブルーレイディスクや DVD プレーヤー等と接続ください。
「BD/DVD」の入力切換ボタンを押せば、接続した機器の映像と音声が再生されます。

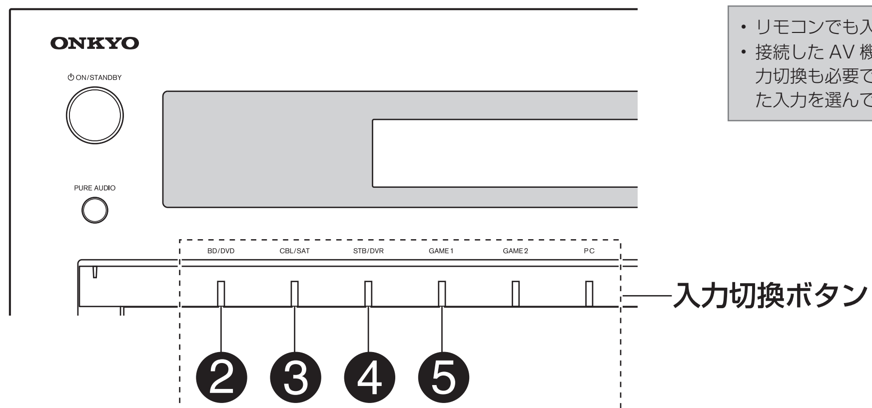
❸ 衛星放送やケーブルテレビチューナー等と接続ください。
「CBL/SAT」の入力切換ボタンを押せば、接続した機器の映像と音声が再生されます。

❹ セットトップボックスや DVD レコーダー等と接続ください。
「STB/DVR」の入力切換ボタンを押せば、接続した機器の映像と音声が再生されます。

❺ ゲーム機等と接続ください。「GAME 1」の入力切換ボタンを押せば、接続した機器の映像と音声が再生されます。

※ 1 ARC（オーディオリターンチャンネル）機能
テレビの音声を本機の ❶ の端子に伝送する機能です。HDMI ケーブル 1 本で、本機からの AV 機器映像の伝送と、テレビの音声の再生が可能になります。テレビが ARC 機能に対応していない場合は、光デジタルケーブルをご用意いただき、テレビの光デジタル音声出力端子と本機の ❻ 端子との接続が必要です。

各入力切換ボタンには、入力端子があらかじめ割り当てられています。
上図の接続をしていただくと、下記のボタンを押すだけで接続した機器の映像と音声が選ばれ、再生が可能となります。



- リモコンでも入力を切り換えることができます。
- 接続した AV 機器の映像をテレビに映し出すためには、テレビの入力切換も必要です。テレビのリモコン等を使用して、本機と接続した入力を選んでください。

HDMI ケーブル以外での接続について

HDMI 端子を搭載していない機器との接続は、下記の表を参考に行ってください。

入力切換ボタン（接続機器の例）	接続する端子			
	HDMI ケーブル接続【映像＋音声】	コンポーネントビデオケーブル接続【映像】	光 / 同軸ケーブル接続【音声】	ピンケーブル接続【映像または音声】
BD/DVD（ブルーレイディスクプレーヤー）	HDMI IN 1	COMPONENT VIDEO IN 1	DIGITAL IN COAXIAL 1（同軸）	VIDEO/AUDIO IN BD/DVD
CBL/SAT（衛星放送チューナー）	HDMI IN 2	COMPONENT VIDEO IN 2	DIGITAL IN COAXIAL 2（同軸）	VIDEO/AUDIO IN CBL/SAT
STB/DVR（HDD レコーダー）	HDMI IN 3		DIGITAL IN COAXIAL 3（同軸）	VIDEO/AUDIO IN STB/DVR
GAME 1（ゲーム機 1）	HDMI IN 4		DIGITAL IN OPTICAL 1（光）	VIDEO/AUDIO IN GAME 1
GAME 2（ゲーム機 2）	HDMI IN 5			
PC（パソコン）	HDMI IN 6			AUDIO IN PC
TV/CD（テレビ）			DIGITAL IN OPTICAL 2（光）	AUDIO IN TV/CD
PHONO（レコードプレーヤー）				AUDIO IN PHONO
AUX（ビデオカメラなど）	AUX INPUT HDMI/MHL		DIGITAL AUX INPUT（光）	VIDEO/AUDIO AUX INPUT

- これらのお買い上げ時の設定は変更できます。詳しくは取扱説明書をご参照ください。（取扱説明書 61 ページ「入力 / 出力端子の割り当て」）
- ケーブルの種類については、取扱説明書 19 ページをご参照ください。

SN 29401159



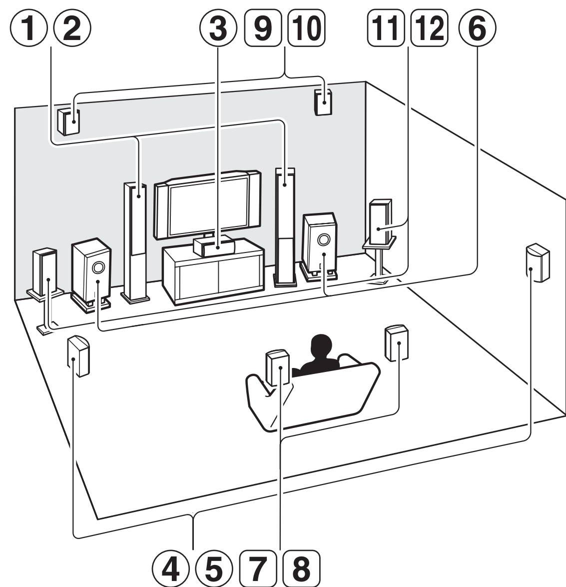
2. ルーターやアンテナの接続について

1 ページのイラストと説明の番号を併せてご覧ください。

❼ ルーターと LAN ケーブルで接続することで、ネットワーク機能をご利用いただけます。
インターネットラジオや、パソコンやネットワークサーバー内の音楽ファイルの再生などのネットワーク機能について、詳しくは取扱説明書 29 ～ 36 ページをご参照ください。

❽ 付属の AM/FM 室内アンテナを接続することで、ラジオをお楽しみいただけます。
接続方法の詳細は取扱説明書 24 ページをご参照ください。

3. スピーカーを接続する



より良い音で聴いていただくために
スピーカーケーブルを接続するときは、アンプの端子のプラス（+）側とスピーカーの端子のプラス（+）側を、マイナス（−）はマイナス（−）とを、各チャンネルごとに必ず合わせて接続してください。間違って接続すると、位相が逆になり低音が出にくくなるなど再生音が悪くなります。各スピーカーケーブルの被覆に色が付いている方をプラス（+）側に接続するなどして間違わないようにしてください。

①② フロントスピーカー
③ センタースピーカー
④⑤ サラウンドスピーカー
⑥ サブウーファー
⑦⑧ サラウンドバックスピーカー
⑨⑩ フロントハイスピーカー
⑪⑫ フロントワイドスピーカー

再生できるスピーカーの組み合わせの例です。

5.1 チャンネル再生の場合：
①②③④⑤⑥

7.1 チャンネル再生の場合：
①②③④⑤⑥ + ⑦⑧
①②③④⑤⑥ + ⑨⑩
①②③④⑤⑥ + ⑪⑫

9.1 チャンネル再生の場合 *：
①②③④⑤⑥ + ⑦⑧ + ⑨⑩
①②③④⑤⑥ + ⑦⑧ + ⑪⑫
①②③④⑤⑥ + ⑨⑩ + ⑪⑫

* 7.1 チャンネル接続に外部アンプを追加することで、9.1 チャンネル再生ができます。
詳細は取扱説明書をご参照ください。

5.1 チャンネル再生をするときは、①②③④⑤⑥を接続してください。

⑩ 右フロントハイ
⑫ 右フロントワイド
② 右フロント
③ センター
① 左フロント
⑪ 左フロントワイド
⑨ 左フロントハイ

赤 赤 赤 緑 白 白 白

SURR R / FRONT HIGH R / FRONT WIDE R / SURR BACK R / FRONT R / FRONT L / SURR BACK L / FRONT WIDE L / FRONT HIGH L / SURR L / CENTER / SUBWOOFER

グレー ベージュ 茶 青

LINE INPUT

パワーアンプ内蔵サブウーファー ⑥
右サラウンド ⑤
右サラウンドバック ⑧
左サラウンドバック ⑦
左サラウンド ④

12-15mm

4. 設定ウィザード（※）で初期設定を行う

本機とテレビを HDMI 接続することが必要です。また、初期設定に際しては、テレビや AV 機器との接続、スピーカー接続、LAN 接続（任意）を完了の後に行ってください。

※ 設定ウィザードとはテレビ画面に表示されるガイダンスを見ながら、質問形式で必要な初期設定を簡単に行うことのできる機能です。

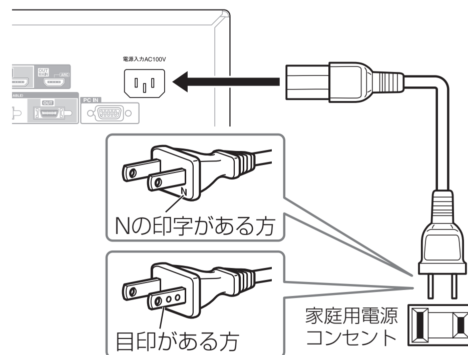
1 **テレビの電源を入れたうえで、本機に付属の電源コードを電源入力端子に接続します。電源コードをコンセントに接続し、本機の ON/STNDBY ボタンを押して電源を入れます。**

2 **初めて本機の電源を入れると、必要な初期設定のウィザードが起動し、テレビの画面に映し出されます。**

テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えることが必要です。テレビのリモコン等を使用して行ってください。

3 **テレビ画面に表示されるガイダンスを見ながら初期設定を行ってください。**

詳しくは、取扱説明書 26 ～ 27 ページに内容が掲載されていますのでご参照ください。



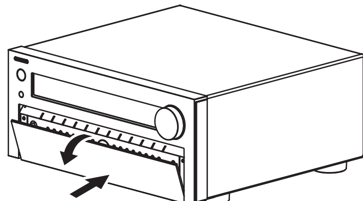
より良い音で聴いていただくために

付属の電源コードは、より良い音でお聞きいただくために極性の管理がされています。
電源コードには右記の 2 つのタイプがあります。電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

5. HDMI コントロール機能を設定する

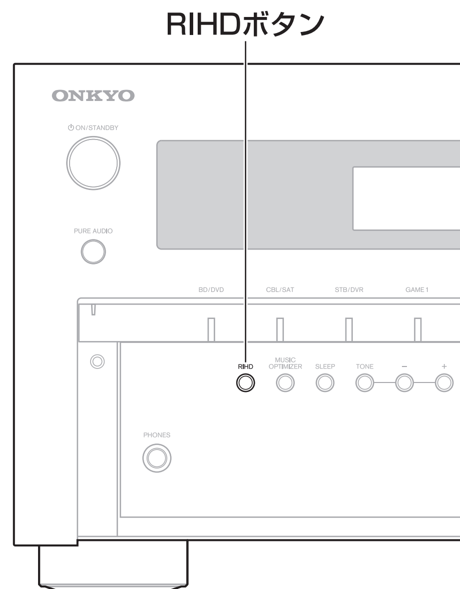
本機と HDMI 接続した CEC 対応テレビや AV 機器との「電源 ON/OFF」や「入力切換」などを自動で連動できる機能です。テレビのリモコンを使用して、本機の音量調整などのコントロールも可能になります。

前面パネルの下部をゆっくりと押して、開けてください。



本体の RIHD ボタンを押してください。

RIHDボタン



本体の RIHD ボタンを押すと下記の設定内容になります。
詳しくは取扱説明書 78 ～ 79 ページをご参照ください。

■ HDMI コントロール（RIHD）

「オン」になります。

■ HDMI スルー

本機の電源をスタンバイ状態にしていても映像をテレビに映し出すことのできる機能です。この機能を使用する場合は「自動」にしてください。

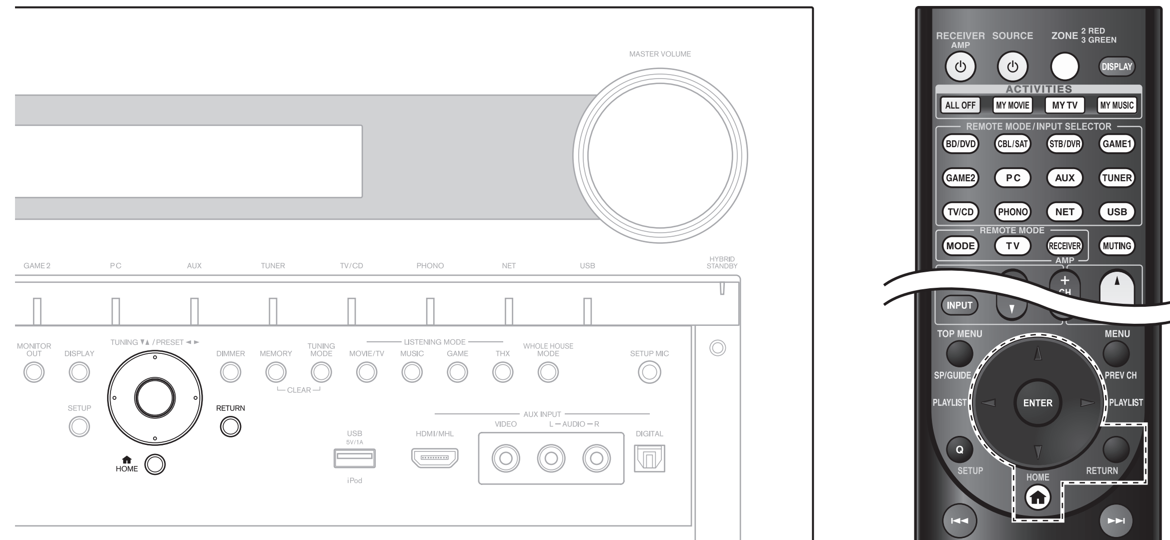
※ HDMI コントロール（RIHD）設定を「オン」にすれば、この設定は「自動」に固定されます。

■ オーディオリターンチャンネル

テレビの ARC 機能を使用する場合は「自動」にしてください。

※ HDMI コントロール（RIHD）設定を「オン」にすれば、この設定は「自動」に固定されます。

「5．HDMI コントロール機能を設定する」および「6．その他の設定項目について」の設定は HDMI 接続したテレビの画面でメニューを見ながら行うことができます（接続できない場合は本体の表示部にて英字のメニューで行えます）。
セットアップ画面の表示、メニューの選択などは以下のボタンで操作できます。



※ リモコンで操作する場合は、最初に必ず「RECEIVER」ボタンを押してから行ってください。

- **HOME ボタン･･･このボタンを押してから画面で「セットアップ」を選んで ENTER ボタンを押せば各種の設定が行えます。**
- **カーソル・・・任意のメニュー項目を選択したり、内容を変更する際に使用します。**
- **ENTER ボタン・・・設定を決定する際に押します。**
- **RETURN ボタン・・・ひとつ前の画面に戻る際に押します。**

6. その他の設定項目について

■ **接続するプレーヤーの音声出力について**

ドルビーデジタルや DTS などのデジタルサラウンド音声を楽しむためには、接続したブルーレイディスクプレーヤーや DVD プレーヤーの音声出力を「ビットストリーム出力」に設定する必要があります。なお、テレビがビットストリーム信号に対応していない場合、テレビのスピーカーで音声を聞くためには、プレーヤーの音声出力は「PCM 出力」に設定してください。
プレーヤーの設定方法については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
また、ブルーレイディスクプレーヤーの設定で音声が DTS-HD マスターオーディオにならないことがあります。その場合はプレーヤーの「BD ビデオ副音声」(またはセカンダリ音声) 機能を「切」にしてお試しください。

■ **スピーカーを増設したり、接続を変更する場合は**

お買い上げ時は「左右フロント / センター / 左右サラウンド / 左右サラウンドバック / サブウーファー」の 7.1ch スピーカーを使用する設定になっています。
付属の測定用マイクを使用せずに、手動で設定を変更する場合は、取扱説明書 64 ～ 65 ページの「スピーカー詳細設定」をご参照のうえ設定を変更してください。

■ **各スピーカーの音量レベル設定について**

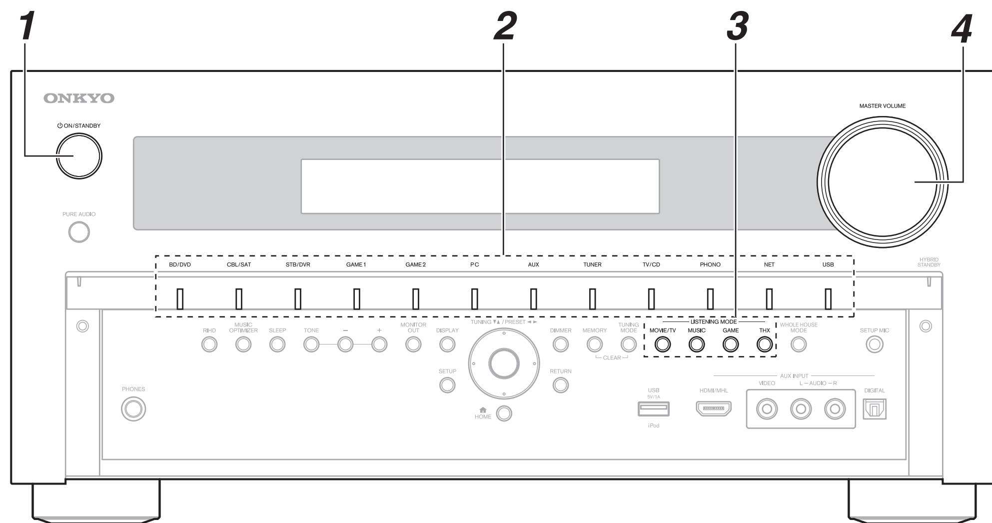
各スピーカーの音量のレベル調整を行って、強弱を設定できます。手動で行う場合は、取扱説明書 65 ページの「スピーカー音量レベル」の項目をご参照のうえ設定を変更してください。

■ **スピーカーのインピーダンス設定について**

接続したスピーカーの中に、1 台で 4 Ω以上 6 Ω未満のインピーダンスのスピーカーがある場合は、取扱説明書 63 ページの「スピーカーセッティング」をご参照のうえ設定を変更してください。

AV 機器を再生してみましょう

AV 機器の再生をします。
高密度な映像や音声を体感いただくために、ブルーレイディスクプレイヤーなどでの再生をおすすめします。





1　本機やテレビ、AV 機器の電源を入れる

※ リモコンで操作する場合は、最初に必ず「RECEIVER」ボタンを押してから行ってください。

2　本機の入力切換を選び、AV 機器を再生する

視聴する AV 機器を接続した入力切換ボタンを押してください。なお、テレビの音声を再生するには「TV/CD」ボタンを押します。

※ 本機と HDMI 接続した CEC 対応テレビや AV 機器とは入力切換が自動で行われます。その他の AV 機器については手動で入力切換を必ず行ってください。

3　お好みのリスニングモードを選ぶ

さまざまな、リスニングモードをお楽しみいただけます。リモコンまたは本体のリスニングモードボタンを押すことでモードが切り換わります。リスニングモードの詳細は取扱説明書 42 ～ 50 ページをご参照のうえ、お選びください。

4　ボリュームを調整する

サラウンド音声をお楽しみいただけます。

さらにこんな使いかたもできます

■ 便利なリスニングモード「Direct」

このモードに合わせておくと、入力された信号がそのまま再生されます。たとえば音楽 CD の 2ch の信号が入力されればステレオで再生、地上波デジタル放送の AAC の 5.1ch 信号が入力されれば 5.1ch で（2ch 信号入力ではステレオで）再生、ブルーレイディスクや DVD のドルビーデジタル信号が入力されればそのチャンネル数に応じたドルビーデジタル音場で再生される便利なモードです。（その他のリスニングモードについては取扱説明書 42 ～ 50 ページをご参照ください。）

■ リスニングモードプリセット機能

入力される信号によって、お好みのリスニングモードが自動で選ばれる機能です。たとえば音楽 CD を聞くときは常にステレオモードで、ドルビーデジタル信号が入力されたときは常にドルビーデジタルで再生できます。再生中にリスニングモードを切り換えることもできますが、一度スタンバイ状態にすると、設定されたリスニングモードに戻ります。（設定方法については取扱説明書 77 ページをご参照ください。）

困ったときは

■ 音が出なくなった
- 入力切換ボタンは正しく選ばれていますか。
- リモコンの MUTING（消音）ボタンを押していませんか。

■ テレビの音がスピーカーから出ない
- テレビとつながっている HDMI ケーブルは、本機の「HDMI OUT MAIN」端子につながっていますか。
- テレビの ARC 機能を使用する場合は、テレビの ARC 対応HDMI端子との接続が必要です。また、本機も「オーディオリターンチャンネル」を「自動」に設定する必要があります。
- テレビが ARC 機能対応でなければ、光デジタルケーブルをテレビの光デジタル音声出力端子と本機の OPTICAL 2 端子と接続することが必要です。

テレビや接続している AV 機器の信号が入力されているかどうかを調べるには、再生中に本機リモコンの「RECEIVER」ボタンを押した後、「DISPLAY」ボタンを何度か押して、入力されているフォーマットを表示し確認することができます。「DolbyD　5.1」などのフォーマットが表示されれば信号が入力されています。詳しくは取扱説明書 51 ページをご参照ください。

■ 一部のスピーカーだけ音が出ない
- スピーカーケーブルが外れていませんか。
- リスニングモードによっては、音声が出力されないスピーカーがあります。（Stereo、Mono モードではセンタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ません。T-D モードではサラウンドスピーカーから音が出ません。）
- テレビ番組などではサラウンドスピーカーの情報が元々入ってない場合が多く、再生されないことがあります。
- 2チャンネルで記録されたテレビ番組などは「PL Ⅱ xxx」のモードに合わせると、センタースピーカーやサラウンドスピーカーの音も再現されます。詳しくは取扱説明書のリスニングモードの欄をご参照ください。
- セットアップメニューの「スピーカー詳細設定」で、各スピーカーの接続設定を確認ください。また、「スピーカー音量レベル」ではスピーカーの音量レベルを確認することができます。

■ ドルビーデジタルや DTS 音声が再生されない
- ブルーレイディスクプレーヤーなどの音声出力を「ビットストリーム出力」に設定してください。プレーヤーの設定方法については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。また、ブルーレイディスクプレーヤーの設定で音声が DTS-HD マスターオーディオにならないときがあります。その場合はプレーヤーの「BDビデオ副音声」(またはセカンダリ音声) 機能を「切」にしてお試しください。

■ 映像が出ない
- 入力切換ボタンは正しく選ばれていますか。
- 「PURE AUDIO」モードになっていませんか？ PURE AUDIO インジケーターが点灯していれば、アナログ映像回路がオフになっていますので映像が映し出されません。本体の PURE AUDIO ボタンを押して解除してください。
- 本機の電源がスタンバイ状態の場合、接続した AV 機器の映像をテレビに映し出すには「HDMI スルー」の設定項目を「自動」にする必要があります。

■ その他、映像や音声が出ない、途切れる
- HDMI ケーブルの差し込みが甘い場合、この症状になることがあります。また、ケーブルをたばねていると接触が悪くなることがあります。接続している機器の電源をすべてオフにしたうえで、HDMI ケーブルを一度外し、再度ケーブルをなるべくまっすぐにして、しっかり差し直します。再度、各機器の電源を入れてお試しください。

■ HDMI コントロール機能がうまく働かない
- 本機の HDMI コントロールを「オン」にする必要があります。本体の「RIHD」ボタンを押すことでオンにできます。
- テレビ側にも HDMI 連動の設定が必要です。テレビの取扱説明書などをご参照ください。
- HDMI ケーブルの差し込みが甘い場合、この症状になることがあります。また、ケーブルをたばねていると接触が悪くなることがあります。接続している機器の電源をすべてオフにしたうえで、HDMI ケーブルを一度外し、再度ケーブルをなるべくまっすぐにして、しっかり差し直します。再度、各機器の電源を入れてお試しください。

■ リモコンが操作できない
- リモコンで本機を操作する場合は、必ずリモコンの「RECEIVER」ボタンを押してから操作してください。

■ インターネットラジオなど、ネットワークにうまくつながらない
- セットアップメニューの「ハードウェア設定」の「ネットワーク」で「IP アドレス」を確認ください。「192.168.xxx.xxx」が表示されていれば、ネットワークに問題はありません。表示されていない場合は、ネットワークルーターの電源コードの抜き差し、再起動や LAN ケーブルの抜き差しで改善されることがあります。この方法を試しても改善されない場合は、ルーターのメーカーへのお問い合わせをお願いします。

■ ラジオ放送に雑音が入る / FM ステレオ放送の時、サーというノイズが多い
- アンテナの接続をもう一度確認してください。
- アンテナをスピーカーコードや電源コードから離してください。
- テレビやコンピューターから離してください。

上記の方法をお試しになっても、まだトラブルが続く場合は、本機の電源コードの抜き差し、または本機のリセットをお試しください。トラブルが解消することがあります。本機のリセットの方法については取扱説明書 95 ページをご参照ください。